

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 8 月 7 日

評価対象事業	都政	-	06	放置自転車防止事業	☐ 法定受託事務
所管課	都市政策部 交通計画課			評価者	交通計画課長 大江 尚
一般	会計	款	45	項	10
				目	08
総合計画上の位置付け	分野名	総合交通		施策の方針名	交通環境の整備

1 事業の目的

対象	市民等	意図	自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため
効果	駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 (事業終了予定年度： 年度) ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告・移動、放置しづらい環境づくりの推進、市営駐輪場の巡回管理、放置自転車等保管場所の管理	駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告・移動、放置しづらい環境づくりの推進、市営駐輪場の巡回管理、放置自転車等保管場所の管理、自転車等駐車場の整備	駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告・移動、放置しづらい環境づくりの推進、市営駐輪場の巡回管理、放置自転車等保管場所の管理、自転車等駐車場の整備
予算額（千円）	57,979	198,325	
国県支出金			
地方債		51,000	
その他	28,156	31,822	
一般財源	29,823	115,503	0
当初人員配置数	2.0	3.0	0.0
人件費（千円）	9,918	19,138	0
事業実績	駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告・移動、放置しづらい環境づくりの推進、市営駐輪場の巡回管理、放置自転車等保管場所の管理		
決算額（千円）	49,022		
国県支出金			
地方債			
その他	31,500		
一般財源	17,522	0	0
人員配置実績数	2.2	0.0	0.0
人件費（千円）	11,321	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	自転車等駐車場の整備箇所数	箇所	22	7	22		
活1	実績につながる活動	自転車等駐車場の整備				0		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・新たに自転車等駐車場を整備するための用地交渉を行ったが、合意に至らず整備には至らなかったものの、既設有料自転車等駐車場において、自転車の一時利用の受入れを拡大したことで実質的な受入れ台数の増加が図られた。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No (最大3つ)
成1	放置自転車等への警告札貼り付け数	枚	38,377	5	38,652			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・成果指標No.1について、放置自転車等への警告札の貼付け枚数は微増とはなったが、市民等の通行の安全性が悪化したと言えるほどの放置自転車の増加は見られなかった。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・新たな自転車等駐車場の整備には至らなかったが、既設有料自転車等駐車場において、自転車の一時利用の受入れ台数を拡大するなどの効果により、放置自転車等が微増に押さえられていると推察されることから、本事業として成果があったと言える。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	□ 民間事業者 □ なし
	有効性	事業の成果	■ 十分に出ている	□ 概ね出ている	□ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	■ ある	□ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	□ できる	■ できない	
方向性	評価実施年度の方向性 ⇒		評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	■ 事業内容は現状通り	□ ① 事業内容は現状通りとする		
		□ 事業内容は見直し済	⇒ ■ ② 事業内容は見直す	→ ■ 拡大	□ 縮小 □ その他
		□ 事業を休止又は廃止済	⇒ □ ③ 事業は休止又は廃止する		
		□ 他事業と統合済	□ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合
方向性	予算規模の方向性	□ 予算規模は現状維持	□ ⑤ 予算規模は現状維持とする		
		■ 予算規模は拡大済	⇒ ■ ⑥ 予算規模は拡大する		
		□ 予算規模を縮小済	□ ⑦ 予算規模は縮小する		

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		一部解決	自転車等駐車場不足を解消するため、新たな自転車等駐車場整備に向けた調整を行った。	
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	新たな自転車等駐車場の整備には至らなかったが、既設有料自転車等駐車場の受入れ台数を拡大したことで成果につながった。しかしながら、放置自転車問題の抜本的な解消には、慢性的な駐輪場不足の解消を要すると思われることから、引き続き、新たな自転車等駐車場整備のための適地確保を目指す。			
		上位施策への寄与度 B			

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		・市内の路線数や地理的条件（平地や坂道の割合）から単純に自転車等駐車場及び放置自転車の数で比較できるものではない。							